

広報誌

すこやか

医療の主人公は患者様、生活者の皆様です。

わたくしたちは、

- 一．みなさまにわかりやすい説明と必要な情報を提供し、同意に基づく医療を進めます。
- 一．みなさまの人格、プライバシーを尊重します。
- 一．みなさまにまごころをこめて、親切に接します。
- 一．みなさまに必要な医療を地域と連携して提供します。
- 一．みなさまにより良い医療を提供できるよう、自らを磨きます。

2015.10

第52号

地域医療における当院の役割について

吉田病院 副院長
人工腎臓センター長 **石黒 俊哉**



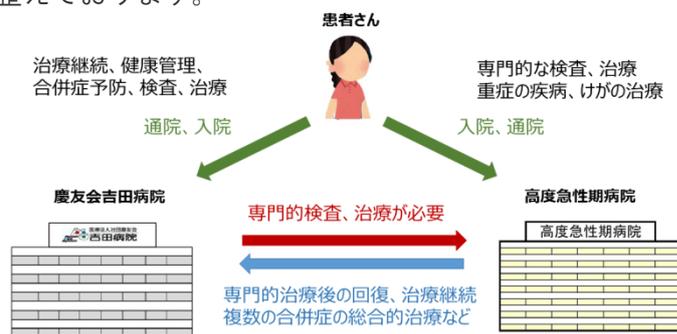
当院では一般内科診療を中心に、内科専門科、整形外科、泌尿器科、放射線科などの専門的医療も加えながら、外来、入院診療に加え在宅訪問診療も行っております。さらに旭川医大病院などからの協力をいただき、高度な専門的医療を受ける機会を増やし、幅広いニーズにお応えできるようにしているところです。さらに当院の母体である慶友会グループでは、体力が落ちたり、認知症が進んだりして、自宅での生活がむずかしくなった患者さんのための特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホームなどが運営されており、他の施設への紹介も含めて、患者さん、ご家族の幅広いニーズにお応えできるよう仕組みを整えております。

旭川市内には高度で専門的な医療を24時間体制で提供する高度急性期病院（旭川医大病院、市立旭川病院、旭川赤十字病院、旭川厚生病院、旭川医療センター）が5つありますが、最近の国の医療費削減政策により、高度急性期病院と一般病院の役割分担が進み、これらの病院では、高度で専門的な治療以外はできるだけ一般病院へ紹介されるようになってきています。

当院は一般病院に該当します。その主な役割は通常の一般診療に加え、

1. 高度急性期病院でなくてもできる検査、治療や専門的治療
2. 高度急性期病院治療後の回復、リハビリテーション、治療継続
3. 超高齢、合併症を多く持つ患者さん、在宅医療を受けている患者さんの診療、健康管理などになります。さらに、自宅での生活がむずかしくなってきた患者さんのリハビリテーション、退院支援、療養先紹介などにも力を入れています。

他の医療機関、介護福祉施設などとの密な連携に取り組むことにより、患者さん、ご家族が悩むことなく、長期に渡る健康管理、安心した生活ができるようサポートさせていただくことが、私共の使命と考えています。当院通院中ではない方、ご家族、知人のことでも結構です。どうぞご遠慮なく、当院スタッフへご相談ください。



「がんのリハビリテーション」の紹介

リハビリテーション課 課長
大谷 忠義

今年8月に医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士計6名で研修を受け、9月より「がんリハビリテーション料」を算定できるようになりました。当院では化学療法をされている方、緩和医療を受けられる方を中心にリハビリに取り組んでいます。

◆がんのリハビリテーションとは？

がんにおけるリハビリテーション（以下、リハビリ）は、患者さんの回復力を高め、残っている能力を維持・向上させ、今までと変わらない生活を取り戻すことを支援することによって、患者さんの**生活の質（QOL）**を大切にすることを基に行われます。がんになると、がんそのものや治療に伴う後遺症や副作用などによって、患者さんはさまざまな**身体的・心理的な障害**を受けます。がんのリハビリは、がんと診断されたときから、**障害の予防や緩和**、あるいは**能力の回復や維持**を目的に、あらゆる状況に応じて対応していきます。



がんそのものによる痛みや食欲低下、息苦しさ、だるさによって**寝たきり**になったり、手術や抗がん剤治療（化学療法）、放射線治療などを受けることによって**身体の機能が落ちたり**、**精神的に落ちこんだり**することがあります。また、**さまざまな障害**を抱えることによって、日常生活に支障をきたし、家事や仕事、学業などへの復帰も難しくなります。そうすると、QOLも著しく低下してしまいます。しかし、がんになっても、これまでどおりの生活をできるだけ維持し、**自分らしく過ごすこと**は可能です。

◆リハビリテーションの対象となる障害の種類

がんそのものによる障害

- ・骨への転移による痛みや骨折
- ・脳腫瘍による麻痺(まひ)や言語障害
- ・脊髄(せきずい)腫瘍や転移による麻痺や排尿障害
- ・腫瘍が末梢(まっしょう)神経を巻き込むことによるしびれや筋力の低下

がん治療の過程で生じる障害

- ・抗がん剤治療や放射線治療による筋力や体力の低下
- ・胸部や腹部の手術後に起こる肺炎などの合併症
- ・舌がんや甲状腺がんなど頭頸部にできるがんの治療後に起こるのみ込み嚥下(えんげ)や発声の障害
- ・腕や脚(四肢)に発生したがんの手術後に起こる機能障害
- ・抗がん剤によるしびれや筋力の低下

がんのリハビリには「**予防的リハビリ**」といわれる分野があります。これは、がんと診断された直後、早い時期に開始されるもので、治療などが始まる前、あるいは実施された直後から行うことによって、治療に伴う合併症や後遺症などを予防するものです。その結果、患者さんは回復力を高め、家庭や社会に短期間で復帰し、普段と変わらない日常を取り戻す事が出来るようになります。

また、がんのリハビリは治療と並行して行われるため、病状の変化をはじめ、あらゆる状況に対応することが可能で、治療のどの段階においても、リハビリの役割があり、患者さんが自分らしく生きるためのサポートを行っています。例えば、**積極的な治療が受けられなくなった段階**では、リハビリが果たせる役割はないのではないかと思われるかもしれませんがそうではありません。緩和ケアの考え方と同様に**緩和的リハビリ**も「余命の長さに関わらず患者さんとそのご家族の要望を十分に把握した上で、その時期におけるできる限り可能な最高の日常生活動作（ADL）を実現する」ことを目指して行われています。

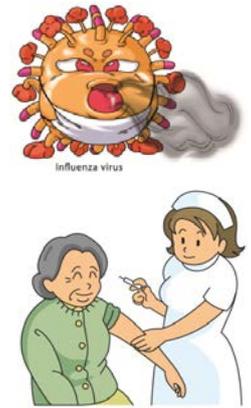


リハビリのより高い効果を得るためには、何よりも患者さん自身がリハビリの必要性を理解し、障害を抱えてもあきらめずに、担当医と相談しながらリハビリのサポートを積極的に受けていくことが大切です。当院でのがんのリハビリは、研修を受けた専門のスタッフが中心となって関わります。当院では、緩和医療も積極的に推進しており、病院全体で連携を図りよりよいリハビリを提供できるよう努力していきます。

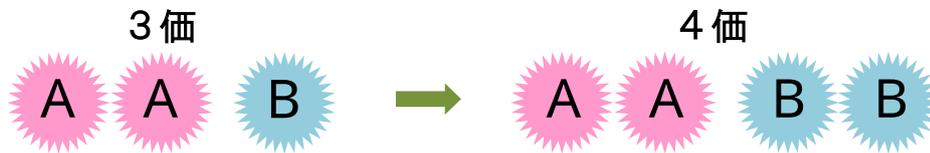
インフルエンザの流行時期が近づいています

インフルエンザは普通の風邪と比べ、高熱が出て症状が強いのが特徴です。特に小児や高齢者は重症化しやすく死亡する事もあります。

インフルエンザの予防にはワクチンの予防接種が効果的だと言われています。インフルエンザワクチンの効果の発現と持続時間には個人差がありますが、インフルエンザワクチン接種後2週間目ごろから5カ月間程度効果が持続するとされています。一般的に12月頃からインフルエンザの流行が始まることを考えると、12月頃までには接種することが望まれます。



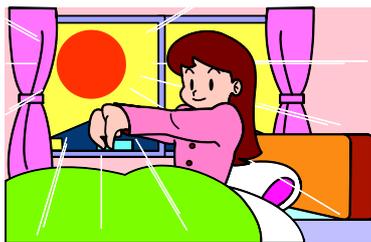
◇今年からインフルエンザワクチンが変わります



近年、B型インフルエンザは2種類の混合流行（山形系統とビクトリア系統）が続いているため、昨シーズンまではインフルエンザワクチンはA型2種類、B型1種類（3価）でしたが、今シーズンからA型2種類、B型2種類の合計4種類（4価）のワクチンになります。

◇インフルエンザの予防で大切なこと

十分な睡眠
規則正しい生活。



バランスの良い食事
十分な栄養。



こまめな手洗い
特に外出後。



流行時期は、
人混みを避ける。



インフルエンザにかかってしま
ったら、「咳エチケット！」
マスクを着用しましょう。



厚生労働省

みんなで予防! インフルエンザ

みんなの「かからない」、「うつさない」という
気持ちがとても大切です。
手洗いでインフルエンザを予防して、
かかったら、マスク等のせきエチケットも
忘れないでください。

マスクに
マメに

手洗い
マメに

インフルエンザ予防
効果キョウクア
マメゾクくん

インフルエンザ予防
効果キョウクア
アズキちゃん

インフルエンザの季節には
みんなの「かからない」、「うつさない」という
気持ちがとても大切です。
手洗いでインフルエンザを予防して、
かかったら、マスク等のせきエチケットも
忘れないでください。

厚生労働省
http://www.mhlw.go.jp/funya/kenkou/influenza/index.html

外来診療担当医師シフト表

平成 27 年 10 月現在

時間	診療科目	月	火	水	木	金	土
午前	一般内科	横田 欽一 武田 寛樹 府川 悦士	横田 欽一 村中 茂人 石黒 俊哉 馬場 勝義	横田 欽一 村中 茂人 府川 悦士	横田 欽一 武田 寛樹 馬場 勝義 川原 敏靖 (旭医大)	横田 欽一 村中 茂人 武田 寛樹	【交代制】 岡田 瑞穂 武田 寛樹 馬場 勝義 府川 悦士 村中 茂人 渡部 和重
	呼吸器内科	山本 泰司 (旭医大)	大崎 能伸 (旭医大教授)	佐々木 高明 (旭医大)	奥村 俊介 (旭医大)	吉田 遼平 (旭医大)	
	消化器内科	横田 欽一	横田 欽一 馬場 勝義 村中 茂人	横田 欽一 村中 茂人	横田 欽一 馬場 勝義	横田 欽一 村中 茂人	
	循環器内科	武田 寛樹		佐藤 伸之 旭医大准教授	武田 寛樹	武田 寛樹	
	肝臓病		●古川 博之教授 岡田 充巧 (旭医大)		松野 直徒 (旭医大)		
	泌尿器科	佐藤 英次		佐藤 英次		佐藤 英次	
	整形外科	井上 謙一	★西田 光宏 (慶応大)	井上 謙一	井上 謙一	井上 謙一	
	内視鏡	林 文哲 村中 茂人	林 文哲	林 文哲	林 文哲 峯松 秀樹	林 文哲	【交代制】
	糖尿病	岩島 保法	岡田 瑞穂	岩島 保法 岡田 瑞穂	岡田 瑞穂	岩島 保法 岡田 瑞穂	
	腎臓内科		石黒 俊哉				
	内分泌 膠原病外来	府川 悦士		府川 悦士			
	歯科	小西 文	小西 文	小西 文 松田 光平	小西 文	小西 文	第 2,4,5 土曜のみ
専門外来 (要予約)				【漢方外来】 ◆早崎 知幸	【漢方外来】 ◆早崎 知幸		
午後	一般内科	岡田 瑞穂 横田 崇	峯松 秀樹	峯松 秀樹	松野 直徒 川原 敏靖 横田 崇	峯松 秀樹 渡部 和重 馬場 勝義	
	循環器内科		武田 寛樹				
	整形外科	■井上 謙一	★西田 光宏 (慶応大)	■井上 謙一	■井上 謙一	■井上 謙一	
	内分泌 膠原病外来				■府川 悦士	■府川 悦士	
	歯科	小西 文	小西 文	小西 文 松田 光平	小西 文	小西 文	
専門外来 (要予約)	【睡眠外来】 千葉 茂 (旭医大教授)			【漢方外来】 ◆早崎 知幸	【漢方外来】 ◆早崎 知幸		

診療受付時間 【平日】 8:00~12:00, 13:00~17:00

【土曜】 8:00~12:30

※日曜、祝日、年末年始(12/30~1/3)はお休みです。

※医師の都合及び診療科により診察時間が異なることがありますので、受診の際には事前にお問い合わせください。

その他の外来のご案内

外科 -火曜午前 :浅井 慶子医師(旭医大)
臨床遺伝-金曜 :蒔田 芳男教授(旭医大) 月 2 回予約制
眼科 -木曜午前 :旭医大眼科派遣医師
婦人科 -木曜午前 :旭医大婦人科派遣医師
甲状腺 -第 4 土曜 :島袋 嘉修医師(島袋内科医院院長)
乳腺 -金曜 :北田 正博准教授(旭医大)月 2 回

- の古川医師の診察は月 2 回となります。
- ◆の早崎医師の診察は不定期です。
- ★の西田医師の診察は 14:30 までとなります。
- の井上・府川医師の受付は 16:30 までとなります。



医療法人社団慶友会

吉田病院

YOSHIDA HOSPITAL

〒070-0054 旭川市 4 条西 4 丁目 1-2

TEL 0166-25-1115 FAX 0166-25-4650